

総務課の目標（平成20年度）自己評価書

総務課長 幡 谷 公 生

達成度

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 政策に関する調整・管理及びわかりやすい資料の公表（政策秘書室）</p> <p>（1）政策実現に向けた情報収集と関係各課との連絡調整を行い、事業の円滑な実施を推進します。</p> <p>（2）行政の説明責任と政策の透明性（正しい情報発信）を図る観点から、施策方針や行政報告などを町民にわかりやすく公表します。</p> <p>（3）わかりやすく適切な情報発信を図るため、町のホームページの「町長室」の構成・内容等を再検討し刷新します。</p> <p>（4）施策方針の内容を推進するための進行管理を行います。</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>5</p>	<p>町長の意向等について各担当課との連絡調整や協議を行うことで、円滑化が図られました。</p> <p>（2）（3）とも情報の共有 町民参加を促すものであるため、引き続きわかりやすい情報提供に努めます。</p> <p>進捗状況調査等を行うことにより、各担当課の事業の促進を図りました。</p>
<p>2 人事管理の適正化の推進、行政組織の見直し（総務班）</p> <p>集中改革プラン（平成17年度から21年度まで）に基づく定員管理の適正化に取り組んだ結果、職員20名の削減目標に対して、23名の削減実績となり、平成19年度において達成しています。また、人口規模、産業構造が類似している団体との比較による職員数については、当町の実態との差があることから、こうした比較検討の実状を検証するとともに、引き続き、早期勧奨退職の推進、新規採用の抑制等により職員適正化に努めます。行政組織についても、限られた職員数の中で、多様化する行政課題に即応し、行政サービスの向上を図るための見直しを検討します。</p>	<p>4</p>	<p>定員管理については、早期勧奨を推進し、4名の職員から退職勧奨の同意を得るなど適正化に努めました。</p> <p>また、行政組織についても、限られた職員数の中で、連携して最大の効果を発揮するために見直しを実施し、現在の「13課、7室、31班」を「12課、4室、27班」に縮小し、より一層の効率化に努めました。</p>

<p>3 行政改革の推進（行政班）</p> <p>厳しい財政状況を踏まえ、事務事業の見直しや行政コストの削減を図るとともに町税等の財源の確保に努めながら、行財政基盤の強化を図るため、酒々井町行財政改革大綱（集中改革プラン）に基づき行財政改革を推進します。</p> <p>計画策定（Plan） 実施（Do） 検証（check） 見直し（Action）のPDCAサイクルに基づき、71項目の実施事項について平成19年度の進捗状況及び実績を取りまとめ、行政改革推進委員会での意見を参考に整理、検証します。取組が遅れている事項については、改善策を検討するとともに、見直しをします。</p> <p>4 安全・安心のまちづくりの推進（危機管理室）</p> <p>（1）「酒々井町安全・安心まちづくり条例」を推進するため、地域と行政が一体となって犯罪のない環境づくりに引き続き取り組みます。その一環として、JR酒々井駅東口ロータリーに「（仮称）町民駅前交番」を設置します。</p> <p>（2）防犯・交通・防災関係の危険箇所をまとめた「酒々井町安全マップ」の作成を進めます。</p> <p>（3）防災計画の見直しに取り組みます。</p> <p>5 酒々井町セキュリティポリシーの推進（危機管理室）</p> <p>職員のセキュリティポリシーの意識高揚のため、内部研修やeラーニング研修等を行っていきます。</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>3</p> <p>3</p> <p>4</p>	<p>酒々井町行財政改革（集中改革プラン）における実施項目の平成19年度の各課の成果・進捗状況を取りまとめ、7月18日開催の行政改革推進委員会で報告しました。</p> <p>その際、取り組みの遅れているものについては、実施内容、計画（目標）達成に向けた今後の取り組みについて見直しを行いました。</p> <p>（1）（仮称）町民駅前交番を「駅前交流センター」と名付け10月11日にオープンしました。防犯ボランティア団体、自治会の防犯パトロール時の拠点として使用されています。このことにより、地域の防犯意識が向上しています。</p> <p>（2）マップを作成することができませんでしたが、町全域の情報収集及び整理を行うための各地域ごとの状況整理を行いました。</p> <p>（3）現行の防災計画の課題の整理をしており、引き続き、全体的な見直しをするための作業を続けています。</p> <p>職員のセキュリティーポリシーの推進のためにeラーニング研修を31名が受講しました。また、職員のスキルアップとセキュリティーポリシーの意識高揚のため、内部研修に講師として参加しました。</p>
--	--	---

<p>6 チャレンジ目標</p> <p>風水害や地震による避難指示などの緊急情報を町民に速やかに伝えるために電子メールサービスのシステム導入等を検討します。</p>	<p>3</p>	<p>電子メールサービスシステムの導入検討を行いました が、コスト面の課題が残りました。引き続き検討をしてい きます。</p>
--	----------	---